

## 学区域自治（自治連合会）を取り巻く環境

- 65～79歳の人口コア世代の高齢化
- 35～49歳世代の流入

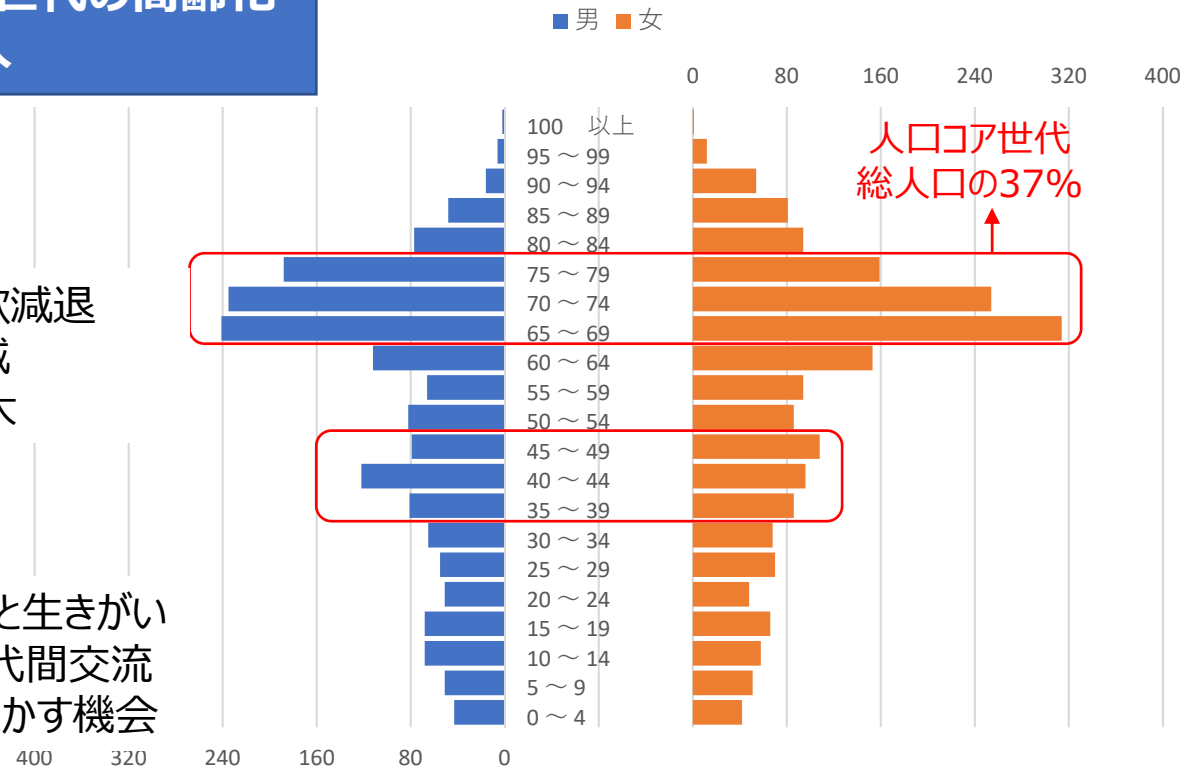
### 配慮が必要な点

- 地域自治への参画意欲減退
- 地域自治の担い手漸減
- 負担軽減の必要性拡大

### 新たなメリット

- 地域貢献を通じた健康と生きがい
- 地域の中での新しい世代間交流
- 多様な人材を地域で生かす機会

日吉台 人口ピラミッド



## 学区域自治（自治連合会）に求められる役割と方向性

持続可能な  
街づくりに関する  
課題解決

- 行政との対話チャンネル確保
- 地域の中長期課題に対する継続的な取り組み
- 住民の総意に基づく意思決定と有効な意見交換
- 自治会員減少に対する歯止め

行政・地域からの  
情報の共有

- コミュニティが取り扱うべき情報の厳選
- IT等の有効活用

地域全体が  
対象となる  
事業・行事

- 役職削減と重複の排除
- 事業・行事の厳選と内容の見直し

## 持続可能な街づくりに関する課題解決

方向性	意見
行政との対話チャンネル確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 大津市の提案する新しい地域自治体制への対応</li> </ul>
地域の課題に対する中長期的な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 継続性を担保出来る役員選任方法と任期の見直し</li> <li>• 負担軽減のための役員の職務内容や分担の見直し</li> <li>• まちづくり助成金などを活用した有償ボランティアによる事務局や常駐自治組織体制</li> </ul>
住民の総意に基づく意思決定と有効な意見交換	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 各自治会員の意見をくみ上げるための自治連合会、自治会双方の体制づくり</li> <li>• 現在の地縁団体法人の在り方見直し</li> <li>• 自治連合会で有効な議論を行うための定例会等の運営方法の見直し</li> </ul>
自治会員減少に対する歯止め	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 組長を含めた自治会参加に起因するあらゆる負担の軽減</li> <li>• 防災等の加入メリットを示した加入勧誘</li> </ul>

## 行政・地域からの情報の共有

方向性	意見
コミュニティが取り扱うべき情報の厳選	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 発信情報の厳選による量の削減</li> <li>• 個別組織によるバラバラな発信や重複の削減</li> </ul>
IT等の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>• SNS、HP等利用可能者への紙配布の停止</li> <li>• ツール活用による事務負担の軽減</li> </ul>

## 地域全体が対象となる事業・行事

方向性	意見
役職削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>• いわゆる「当て職」の削減（行政、地域双方）</li> <li>• 各種団体との役割分担の見直しや重複の排除</li> </ul>
事業・行事の厳選と内容・運営方法の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 組織構成員の変化に伴った、新設・廃止を含む事業の見直し</li> <li>• 自治連合会、自治会に依存しない実行委員会などによる事業運営への移行</li> <li>• 寄付金徴収などの取り扱い見直し</li> <li>• 「動員」が必要な事業の見直し</li> </ul>